

施設・デイの環境改善（ハード編）

地域のイメージが変わる全国での実践方法から学ぶ

講師：山下総司 株式会社IDO
IDOコンサルティング事業部
介護部門ディレクター



日本全国で活動中の施設環境改善アドバイザー が実践している元気な施設のつくり方！

- ・視覚効果から考える認知症ケア実践
- ・お互いに過ごしやすい環境創り
- ・明るい雰囲気のある場所作りの原則とは
- ・理想を現実にする方法
- ・PEAPを活用した実践から考える
- ・環境創りのアイデアを生む3要素

【研修内容】

「施設・事業所に行きたい！」と自ら言う方は殆どいません。なぜなら「施設」という言葉そのものに「何かあった人が行く場所」という重みがあるからです。この「施設・事業所」を地域の人との「交流の場」などにイメージを変えていった数々の実践事例を交えて施設環境アドバイザーの取り組みやまず出来る環境改善のポイントをお伝えします。

株式会社IDO
IDOコンサルティング事業部 介護部門ディレクター 山下総司

一般企業に勤務後、介護現場（デイサービス、障がい者施設、介護老人保健施設、在宅ヘルパー等）などで管理者までを経験。

「選択と自由」のある施設づくりをテーマにデイサービス管理者時代に自施設で実践。その取り組みは全国からの見学者を通して広がり、介護現場業務の傍ら「選択と自由のある施設づくり」をテーマに依頼がある事業所へ伺い、現場に入りながら研修、指導などを行う。

平成23年12月に大阪のデイサービスセンターを退職後、施設環境アドバイザーとして全国各地の介護施設・事業所などで実践を行う。

現在は、株式会社IDOコンサルティング事業部 介護部門ディレクターとして、通所・入所に関わらず年間で延べ280事業所に対して介護・環境改善指導を行っている。